

平成28年4月1日から

平成28年度版

ロタウイルスワクチン 接種費用を助成します！

- 接種日に鈴鹿市に住民登録のある方が対象になります。
- 接種日が平成28年4月1日以降のロタウイルスワクチンが対象になります。



	2回接種ワクチン(ロタリックス)	3回接種ワクチン(ロタテック)
助成対象者	生後6週～24週未満(※)	生後6週～32週未満(※)
	※いずれも1回目は、生後14週6日までに接種しましょう	
助成回数	2回	3回
助成額/回	4,500円/回	3,000円/回
接種時に必要なもの	① 母子健康手帳 ②健康保険証 ③接種費用(各医療機関の定める接種費用から助成額を除いた額は自己負担となります) ④ 鈴鹿市が定めるロタウイルスワクチン接種予診票(県内で接種する場合) 市内で接種される方…接種時に医療機関の窓口で申請の手続きが必要です。 市外で接種される方…事前に鈴鹿市健康づくり課で申請の手続きが必要です。母子健康手帳を持ってお越し下さい。 ⑤ 県外医療機関で接種したロタウイルスワクチンの接種記録(母子健康手帳, 予診票等)の写し, 接種費用を支払ったことがわかるもの(領収書等)…平成28年4月1日以降に県外医療機関でロタウイルスワクチンを接種された方のみ	
★県外の医療機関で接種する場合	★助成の対象…2回接種ワクチンの1回目, 3回接種ワクチンの2回目以前 助成の流れ ①県外で接種(全額自費) → ②県内医療機関での次回の接種時に, 県外での接種回を併せて助成 ★県内医療機関での接種時に, 県外での接種記録の写しの提出及び接種費用を支払った事がわかるもの(領収書等)の提示が必要です。 上記の回以外を県外で接種した場合は助成の対象外となりますが, 特別な理由がある場合等は健康づくり課までご相談ください。	

ロタウイルス感染症(『2015年度版 予防接種と子どもの健康』より抜粋)

ロタウイルスによる下痢症は、急激な嘔吐と白色水様便を頻回に排泄し、発熱が3割～5割程度に見られます。ロタウイルス感染症により、世界では5歳未満の小児約50万人が死亡しているとされています。先進国では死亡例は少ないですが、嘔吐・下痢に伴う脱水やけいれん、腎不全、脳炎・脳症等の合併症のため入院治療に至るケースがあります。

ロタウイルスワクチンについて

初感染時のロタウイルス胃腸炎の重症化予防を目的とした経口ワクチンです。2回接種ワクチンと3回接種ワクチンがありますが、腸重積症等の副反応の点から、いずれも1回目は生後14週6日までに接種することが推奨されています。4週間以上の間隔をあけて定められた回数を接種しましょう。

ワクチンの副反応

腸重積症状(腹痛, 反復性の嘔吐, 血便, 腹部膨満感)等に注意し, 気になる症状がある場合は接種医に相談しましょう。